

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートキッズいりばる			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 13日		～	令和8年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 13日		～	令和8年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様、保護者様が安心する事ができ、楽しく通所する事ができている。	日々の活動が偏らないよう、月ごとに活動の予定を組み立て、出来るだけ予定通りの活動を行う事ができるようにしています。また、活動の中には自主活動や余暇活動等、利用者さまが楽しみながら通所できるよう工夫しています。また、保護者様には対面、LINE、インスタグラムにて活動内容等を共有し、利用者様の様子などを伝え、安心していただけるよう意識しています。	各利用者様の個別支援に合わせた五領域の項目を取り入れつつ、活動に偏りがなく、利用者様、ご家族様の要望などをかなえる事ができ、安心して楽しくすごすことができるよう、今後も継続して取り組んでいきます。
2	社会に出た時に困り感が少なくなるよう、自身の自立や就労に向けての活動を多く取り入れる事ができている。 また、小学6年生から中学、高校生を受け入れる事で年齢に合った支援を行う事ができている。	日々の活動の中で、利用者が苦手な事を排除するのではなく、どうしたら乗り越えられるかを支援者が一緒になって考え、自分の力で乗り越えていく事ができるように支援をしています。 また、主に中・高校生を支援している事で、人との距離感や言葉遣い等、年齢に合った支援をすることができるようにしています。	これからも社会見学やSST活動にて利用者様と一緒に考え、解決ができるよう支援を継続して取り組んでいきます。
3	同法人にて未就学児、小、中、高校生と生活介護、高齢者サービスの方との交流を行う事ができている。	各事業所でのイベント時（夏祭り、敬老会、ハロウィン、クリスマス）には各事業所で利用者さん同士の交流が持てるようにレクやおやつの差し入れ等行いながら交流しています。	今後も各事業所との交流を行い、子ども同士の関わり、高齢者さんとの関わりを持ちながら利用者様同士も活気が出るよう継続して取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方との交流の機会が少ない	中、高校生で、他者との関りに恥ずかしさや学校の同級生に見られたくないと思う気持ちを尊重しすぎてしまい、交流を行う事ができていない。	今後、イベントがある際には地域の方への声掛けなどを行い、参加して頂けるようアナウンスしていきたい。
2	職員同士での会議やミーティングなど行っているが、個々の感じ方に相違があり、上手くコミュニケーションが取れていない部分がある。	勤務時間や勤務体系などで会議への参加が難しい職員とのミーティングの時間がしっかり取れていないこと、また、意見が違った時や解決できなかった問題の再確認などを行う事ができていない。	勤務時間や勤務体系が違う方も調整を行ったり、管理者から会議の内容等をしっかり伝えていく。解決できなかった問題などは週間ミーティング等で振り返りを行いながら改善していきたい。
3	保護者との交流の回数が少ない。	同法人の合同イベントで交流している形にはなるが、自事業所だけで保護者様同士が交流できる機会が少なかった。	今年度初めて保護者交流会を行う事ができた。今後も様々なイベントを通して交流できる機会を増やしていきたい。